

さいわいデイだより 9月号

社会福祉法人 川崎市幸区社会福祉協議会さいわいデイサービスセンター
【指定介護保険事業所番号: 1475100879】
〒212-0023 川崎市幸区戸手本町 1-11-5 川崎市さいわい健康福祉プラザ内
電話: 044-541-8245 FAX: 044-556-5577
【編集人 土谷 憲司】

夏の暑さとは違うけど、まだまだ暑い日が続き…と言っていると急に寒くなったり、雨が降ったり…

「男心と秋の空」「女心と秋の空」よく言ったものですね。

そして、9月はいよいよ台風シーズン到来です。

備えあれば憂いなし！ 備蓄の確認をしておきましょう♪

今年は大連休にならず残念！などと思っている方もいらっしゃると思いますが… 現行法では恒久性がなく2026年まで次の大連休（シルバーウィーク）はありません。

抜けるような青空、空気も澄んでいて「秋晴れ」「天高く馬肥ゆる秋」などと言う言葉があるくらいで、秋は月もきれいですよね～♪

（夏は太平洋高気圧が湿った空気中の水蒸気に光が乱反射して白っぽく見えるのに対し、秋は移動性高気圧の乾いた空気が澄み渡り、上空の雲までよくみえること、低気圧と高気圧が上空を交互にとおるため、お天気が変わりやすいのが特徴です）

ところで…

「男心と秋の空」と「女心と秋の空」の違いってご存知でしたか？

「男心と秋の空」は江戸時代からのことわざで、飽きやすく浮気がちで移り気な心（恋愛）を、変わりやすい秋の天気で表現したものだそうです。（その当時は既婚女性の浮気は命を落とすほどの重罪だったそうですが…）

「女心と秋の空」は、西洋文化の影響で女性が意思表示できるようになり地位向上した明治時代、愛情に限らず喜怒哀楽の感情の起伏が激しいことや、物事に対して移り気な女性の心を表現したものだとか。

「男心～」の方が昔からあり、表現も微妙に違いがあるんですね。

あらっ？「浮気なんてしたことない！」「何事にも一途ですっ！」と、目くじらを立てていらっしゃる方… いらっしやいませんか？

古今和歌集で移り気な人の心を、紀貫之が「人の心ぞ風も吹きあへず」と詠み、小野小町も「人の心の花にぞありける」と詠んでいます。

吉田兼好も徒然草で「人の心は移ろいやすく」と詠っていますので、昔から移ろう心は男女問わず、当たらずも遠からずの比喩なのかもしれませんね。

◆◇ しばらく暑さは続きそうです。どうぞお身体 ご注意ください。◇◆

ディスタッフ
のつぶやき

「ぬりえ」なんて！ とおっしゃいますが…

「子どもじみたこと」「何の意味があるの？」と耳にします。

実は!! 老化を食い止める効果やリラックス効果など…意味があるんです!

まず下絵を見ると…

どのような絵か認識するため、脳の後方部分の後頭葉や過去に見た形や色を参考に記憶を呼び戻そうとする側頭葉を使い、その後、頭頂葉が把握した下絵全体のバランスや構図などを考えます。そして、「何色でぬるか」「どこからぬるか」などの作業プランを立てる時に前頭連合野が働き、実際に色をぬる時に前頭葉にある前頭運動野が働きます。

どの色でどんなふうにぬったらどんな感じに仕上がるのかを想像し、枠外にはみださないように注意する。目・頭・指先を知らないうちに使っています。

認知症が進んでくると、何の絵なのか、何色にすべきか認知できなかったり、枠内に色をぬる行為が理解できなくなったりします。

更に進んでくると… 色の使い分けができず「一色ぬりになる」という特徴もあります。(声掛けにより、一色ぬりが多色になり…はみださずになる方など、本当に顕著です。)

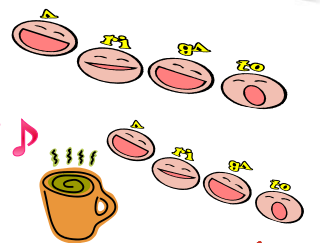
このような変化から認知症の進行具合も垣間見ることができ、また、ぬりえから昔話し(回想法=会話)にも発展します。 たかがぬりえ、されどぬりえ…



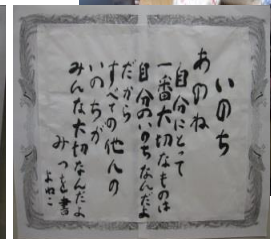
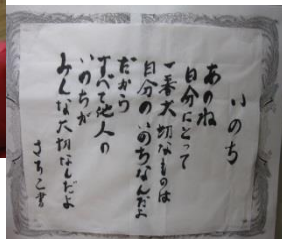
…さいわいデイからのお知らせ…

9月19日～23日(第4週目)は敬老会です♪

見学大歓迎! ボランティアさん大歓迎!!



《8月の行事風景》



ありがとう

和やかで 楽しい時間を過ごしていただけるよう 工夫しています。

【問い合わせ】 さいわいデイサービスセンター 541-8245 (月～金 8:30～17:30)